

# 内科学〈呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野〉

## 担当指導医師

### ●本院

教授：山内 広平

准教授：小林 仁

講師：中村 豊、鈴木 順

助教：山下 雅大、宮本 孝行、佐々木 信人、森川 直人、齋藤 小豊、  
古和田 浩子、関村 研之、長島 広相、秋山 真親

非常勤講師：二宮 由香里、須藤 守夫、毛利 孝、似内 郊雄

## 基本方針：

### 1. 基本理念

近年人口の高齢化、慢性疾患の増加、在宅医療の進展等により医療が日常生活の中に組み込まれ、医師は専門分野の疾患を治療するのみでなく、患者と家族の抱える身体的、心理的、社会的問題にも対応し、問題解決を図ることが重要になっている。そのためチーム医療の推進、家族や福祉サービス関係者等、患者以外との関わりの拡大によって、医師のコミュニケーション能力の向上も求められ、組織的、制度的に内容の充実した臨床研修を通じて医師としての基盤を作る必要がある。

### 2. 実習の基本方針

- (1) 研修期間は2週を一区間として、各区間で異なった領域の患者を担当し、医師国家試験での出題ポイントを踏まえて、広い領域での実習の成果があがるようにする。
- (2) また研修期間内に各診療領域における診療、検査、禁忌、研究のポイントなどについて、当該領域のexpertによるsmall group形式でmeetingを実施する。
- (3) formal case presentation、bullet presentationは診療に参加する上で欠くことのできない技能であるため、繰り返し行う。

## 実習内容：

### 1. 実習内容

- (1) 準主治医として患者の病歴聴取
- (2) 打聴診による異常所見の把握
- (3) 診断計画立案
- (4) 胸部X線写真をはじめとする画像診断読影法の修得
- (5) その他の検査結果の評価法と意義

- (6) 総合的診断方法
- (7) 治療計画立案（最も適した治療法の選択、患者の家族の治療に対する希望、予後の推定）
- (8) 患者治療の管理（副作用防止、改善の確認、精神的ケア）、診断・治療に至る手段・思考過程を学ぶ。

## 2. 症例検討

- (1) 毎日の病棟グループ毎の症例検討会
- (2) 教授回診での患者病態報告
- (3) 関連科との合同カンファランス
  - 1) チェストカンファランス：呼吸器外科、放射線科との合同カンファランス
  - 2) 腫瘍カンファランス：上記の他に臨床病理が参加
- (4) CPC  
効果的な症例呈示法を学ぶ。

## 3. 研究と交流

- (1) 抄読会
- (2) リサーチカンファランス
- (3) 各種医局行事  
医局の研究に触れ、医局員との人間的触れあいを高める。

## 4. 具体的実習概要

- (1) 下記カンファランスへの参加
  - 1) 病棟グループごとの症例検討会（月：16時30分 毎週）
  - 2) 教授回診（東5階病棟 他）（火：13時45分～ 毎週）
  - 3) チェストカンファランス（東5階カンファランス室）（火：8時15分～ 月2回）
  - 4) 病理カンファランス（西6階放射線科カンファランス室）（火：8時15分～ 月1回）
  - 5) CPC（第4火：18時～）
  - 6) 抄読会（火：17時～17時30分 毎週）
- (2) 病棟診療研修  
病棟医長より担当患者を指定される。  
主治医と指導医の指導のもとに日常の医療行為に参加する。教授回診での症例提示、また最終的に症例のまとめを発表し質疑応答を行う。
- (3) 外来診療研修  
教授新患外来において病歴聴取を行い外来診療に参加する。また希望する専門外来担当医の指導のもと、診療に参加し実践的な知識を得る。
- (4) 指導内容  
基本的な患者との接し方、診断の進め方に加えて以下の専門的手技についても学ぶ。
  - 1) 呼吸器、アレルギー、膠原病、心療内科各疾患の診断・治療の理解。
  - 2) 下記基礎技術のトレーニング

- ①静脈採血と血液電解質の測定・評価
- ②動脈採血と血液ガスの測定・評価
- ③胸部 X 線写真の読影
- ④喀痰採取とグラム染色・抗生剤の選定
- ⑤喀痰のパパニコロー染色と細胞診
- ⑥気管内挿管、レスピレーター管理の実際、CPAP、NPPV
- ⑦胸腔穿刺と胸水の分析
- ⑧気管支ファイバー手技と TBLB
- ⑨気管支肺胞洗浄及び洗浄液の検査法
- ⑩呼吸機能検査の測定と評価
- ⑪気道過敏性検査とその評価
- ⑫アレルギー皮内反応検査とその評価
- ⑬医療面接技法の理解と実践
- ⑭心理検査（質問紙法）の意義と活用法の理解

#### 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	個数	使用目的
診断用機械	SpO <sub>2</sub> 測定装置	5	酸素飽和度モニターおよび診療に用いる。
診断用機械	血流ガス分析装置	1	採血の実際測定の実際を学ぶ。また、評価法についても理解する。
診断用機械	ピークフローメーター	5	気管支喘息患者の自己管理に用いる。規準位グリーンゾーン、イエローゾーン、レッドゾーンの考え方を学ぶ。
診断用機械	スパイロメーター	1	スパイログラムの取り方を学ぶ。閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患の概念を学ぶ。
診断用機械	アストグラフ	1	気道過敏性検査の理論と実際を学ぶ。
診断用機械	胸腔鏡	1	胸腔内病変の診察及び治療に用いる。
診断用機械	ボディプレチスモグラフ BX-82 (ミナト)	1	気道抵抗、肺気量など肺機能の測定を行う。
診断用機械	BiPAP 呼吸装置	1	非浸潤的人工呼吸装置とその適応を学ぶ。
診断用機械	抗原（アレルゲン）	各種	感作の状況、皮内テストの実施について学ぶ。
診断用機械	安全キャビネット (SCV - 803EC II C)	1	細胞生物学の基礎的手技を学ぶ。
診断用機械	サーボベンチレータ・アイ	1	人工呼吸の実践を学ぶ。
診断用機械	咽頭ファイバースコープ式 (LF-TP)	1	気管支鏡臨床実習

使用区分	使用機器・ 器具等の名称	個数	使用目的
視聴覚用機械	マルチディスカッション顕微鏡	1	ミクロの同一標本をグループで同時に観察しながら指導検討を重ね、病因・病態を調べる。
視聴覚用機械	電子気管支ファイバースコープ (BF240) 及び内視鏡用テレビ (OTV-F2)	1	気管支内視鏡検査を学生全員がテレビ画面で観察する。
視聴覚用機械	顕微鏡デジタルカメラ DP70 (OLYMPUS) ・システム顕微鏡 (BX51 - 33)	1	組織標本をデジタル画像に取込み資料とする他、症例検討会などで提示する。
視聴覚用機械	液晶テレビ (LC45BEIW)	1	教育用ビデオ・DVD の供覧
視聴覚用機械	ノートパソコン一式 (2.16GHz IntelCore2Duo)	2	講義・実習における指導
視聴覚用機械	ノートパソコン一式 (VGN-G1KAP)	1	教育・講義用
視聴覚用機械	パワープロジェクター一式 (SX6)	1	講義・実習における指導
視聴覚用機械	インフラレッドオメージングシステム一式 (ODY-9201-TSC)	1	免疫アレルギー講義
視聴覚用機械	ノートパソコン (CF-R6M)	1	講義・資料提示用
視聴覚用機械	コピー機 (IMAGIO C3500)	1	講義資料作成
実習用機械	オニックス超小型パルスオキシメーター9500 型	5	講義・実習での測定
視聴覚用機械	ノートパソコン (CF-WCWHAXS)	1	講義・実習での資料作成
視聴覚用機械	アーク光源全反射蛍光顕微鏡 (IX71-ARCEVA-2)	1	”
視聴覚用機械	カラー複合機 (MB134J/A)	1	授業資料の作成
実習用機械	O2Transducer (S/NO,849007)	1	臨床実習用
実習用機械	落射蛍光顕微鏡 (BX51N-34-FL-2)	1	臨床病理実習に使用
実習用機械	NIOX MINO Monitoring System300 (呼吸 NO 濃度測定器) (Item number 03-4501)	1	臨床実習用
視聴覚用機械	パソコン一式 (iMac24 インチ)	1	講義・実習に使用する資料作成
実習用機械	机・イス等設備一式 (CZN-1079-WA-WES0 他)	1	臨床実習における症例検討
実習用機械	プラオチェア	3	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	パソコン (PANB100HNL)	1	講義における資料作成とプレゼンテーション
視聴覚用機械	液晶 TV REGZA (32H7000)	1	臨床実習における症例検討
実習用機械	ルータ (SRT100)	1	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	パソコン (PC-MY30AEZ556T6)	1	臨床実習における症例検討
実習用機械	オートクレーブ (YS-A-C107J)	1	臨床実習に使用する機器

使用区分	使用機器・ 器具等の名称	個数	使用目的
実習用機械	卓上小型振とう機 (WAVE-SI SLIM)	1	臨床実習に使用する機器
実習用機械	マグミキサー (MH301 231340)	1	臨床実習に使用する機器
講義実習用機器	iMac27 インチ (Z0JN CTO)	1	講義・実習用資料作成
実習用機器	仮想気管支鏡システム (Bf-NAVI)	1	臨床実習における気管支鏡体験
視聴覚用機械	ノートパソコン (MacBook Air)	1	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	デスクトップパソコン (EPSON MR4100)	1	臨床実習における症例検討